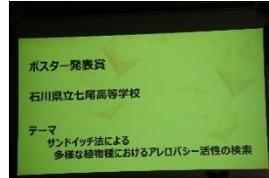


七高SSH通信

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

R4/9/8
令和4年度
第8号

SSH生徒研究発表会 ポスター発表賞受賞



文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の主催で、8月3日（水）・4日（木）に、神戸国際展示場にて、令和4年度SSH生徒研究発表会が行われました。本校代表として『サンドイッチ法による多様な植物種にアレロパシー活性の検索』のグループ（36H 大松さん・長田さん・星野くん）が参加しました。研究は多くの審査員から優秀と認められ、ポスター発表賞を受賞しました。



金沢大学理学の広場

8月8日（月）、金沢大学と石川県教育委員会の共催で「理学の広場」が行われました。この行事では、県内の高校生たちが、高校の授業ではあまり触れられないテーマについて、普段なかなか訪れることのない大学の研究施設を使って、数学・物理・情報/計算科学・化学・生物・地学の5種類のセミナーに分かれて実験等を体験します。

本校からは11名の生徒が参加し、『日常生活に潜む数学』や『アルファ線ががん細胞を狙い撃つ不思議な原子を調べよう!!』、『北陸の大地を巡る地球史の旅』など最先端のサイエンスを体験しました。



先端科学実験施設研修

8月19日（金）、1・2年生の医療系志望者を対象に先端科学実験施設研修を行いました。金沢大学ナノ生命科学研究所にて、NanoLSI 棟見学、AFM 装置の説明を聞きました。その後、がん進展制御研究所に移動し、がん研施設見学をしました。見学後、がん研究の紹介や、本校生徒5名と研究者1名で懇談を行いました。

金沢大学ナノ生命科学研究所・がん進展制御研究所の最先端に触れ、自分たちの進路について考えることができた貴重な1日となりました。



生徒の感想

- 他の大学に負けにくいくらい設備が整っており、見学するのが楽しかった。実際に世界の先端に立つ研究者と話すことができ、研究内容を聞くことができてよかった。
- 高速 AFM を実際に見れたことが印象に残っています。タンパク質の動きや構造、形などは教科書にイラストで乗っているものしか見たことがないので、写真のように実際に目で見るような形にする技術はすごいなと思いました。
- がんが成長していく様子や細胞の様子を見るための顕微鏡について初めて知ることができ、とても興味深かった。
- 今回は話を聞くだけでしたが、高速原子間力顕微鏡を実際に操作して、どんなふうに見えるのかみてみたいです。
- がんが悪化する原因や、がんを治す方法についての研究はとても興味深く、より知りたと思います。